

2006 年度

科目名  文化財科学 I (分析科学)	対象学科・学年 文学部文財1回生	担当者  三辻 利一
授業テーマ 世界的に有名な遺跡発掘の歴史をたどりながら、「自然科学が何故、考古学に必要なのか」を理解させることを目標にしている。		
授業の概要と目標 近年、考古学に種々の自然科学の方法が取り入れられ、その結果、発掘に関する新聞記事にも自然科学の用語がしばしば登場する。何故、考古学に自然科学が必要なのか？ 何時から考古学と自然科学が結びつくようになったのか？ このことを理解しようとする、考古学とは一体、どんな学問なのか、また、自然科学とは一体、どんな学問なのかを理解しておく必要がある。この講義では考古学と自然科学について、つぎのような項目で概説する。		
評価方法 レポートと出席状況で採点		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1) 宇宙の歴史 2) 地球の歴史 3) 人類の歴史 4) 文明の展開 (メソポタミア文明とエジプト文明) 5) シュリーマンのトロイ遺跡の発掘 (ギリシャ神話とホメロスのイーリアス) 6) エヴァンズのクレタ文明の発掘 (ギリシャ神話、アリアドネの糸) 7) メソポタミア文明の科学的発掘 (洪水神話とシュメール文明の発見) 8) 古代エジプト文明 (ピラミッドとミイラ) 9) 古代中国文明 (殷と秦の遺跡) 10) 日本考古学の誕生 11) 考古科学の誕生 12) 土器の考古科学		